

**「原子炉格納容器内部調査技術の開発」
1号機ペデスタル外側1階グレーチング上調査(B1調査)
の現地実証試験の実施について**

**2015年4月6日
東京電力株式会社**

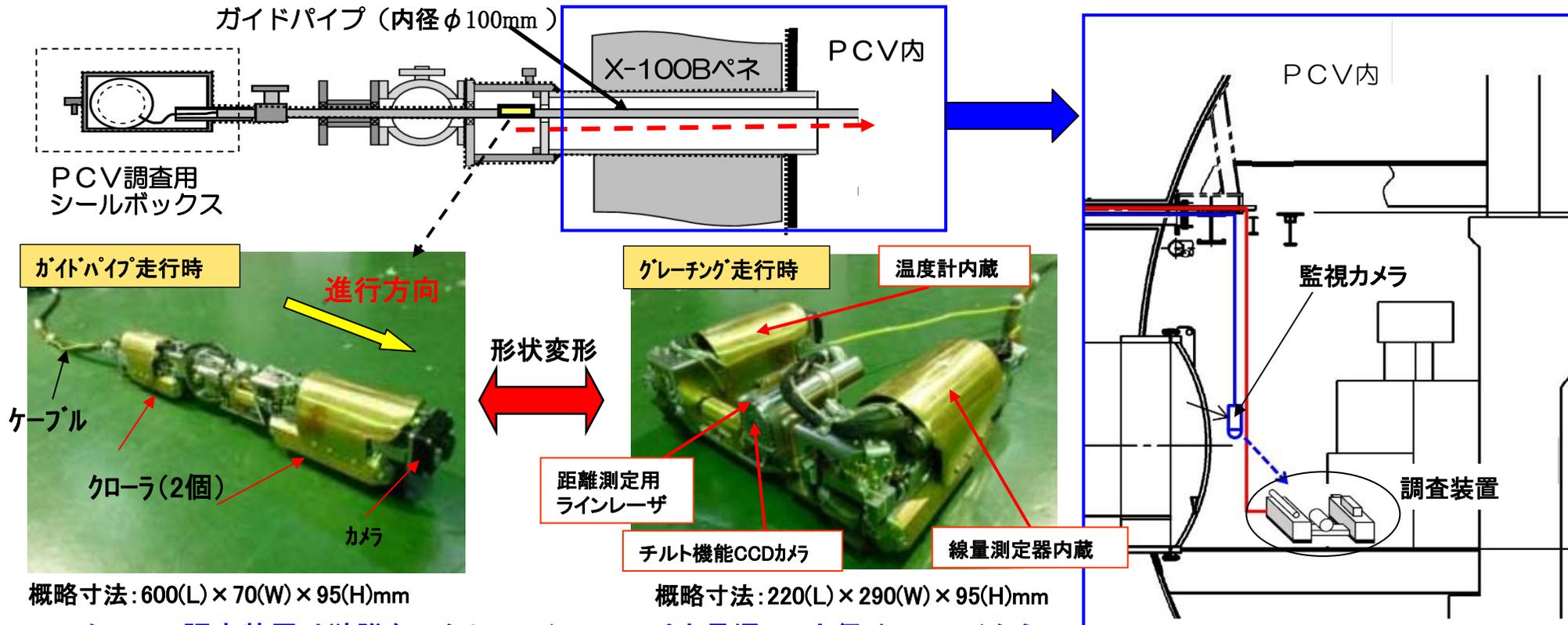


東京電力

IRID

1. 調査概要

福島第一原子力発電所1号機について、X-100Bペネより調査装置を投入し、『原子炉格納容器(PCV)内の1階グレーチング上』の情報取得を目的とした調査を実施する。



クローラ調査装置は狭隘なアクセス口(X-100Bペネ貫通口:内径φ100mm)からPCV内へ進入し、グレーチング上を安定走行可能な、形状変形機構を有する。

2. 調査方法・項目

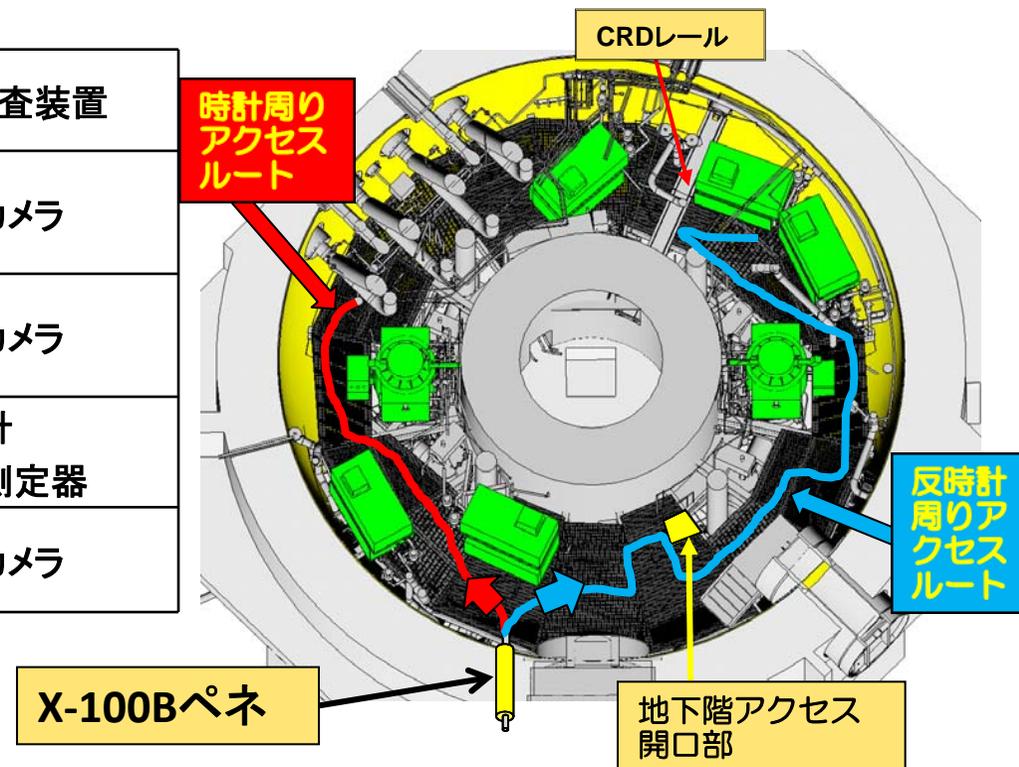
クローラ調査装置にて【反時計周りルート】・【時計周りルート】に分けて行う。

調査項目

No.	目的	調査部位	調査項目	調査装置
①	ペDESTAL外地下階(B2)調査時の干渉物確認	地下階アクセス開口部	映像	CCDカメラ
②	PCVペDESTAL内調査時の干渉物確認	CRDLレール	映像	CCDカメラ
③	環境の状況確認	アクセスルート上※	温度 線量	温度計 線量測定器
	既設構造物の状況確認		映像	CCDカメラ

※アクセスルート上で可能な範囲で実施。

アクセスルート



3. 調査ポイント

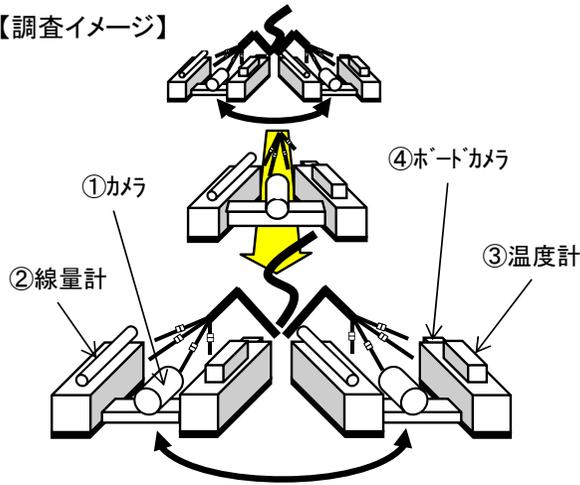
各調査ポイントでクローラ装置を停止し調査（画像，温度，線量の情報取得）を行う。

B0, ~ B18 調査ポイント
C0, ~ C11 調査ポイント

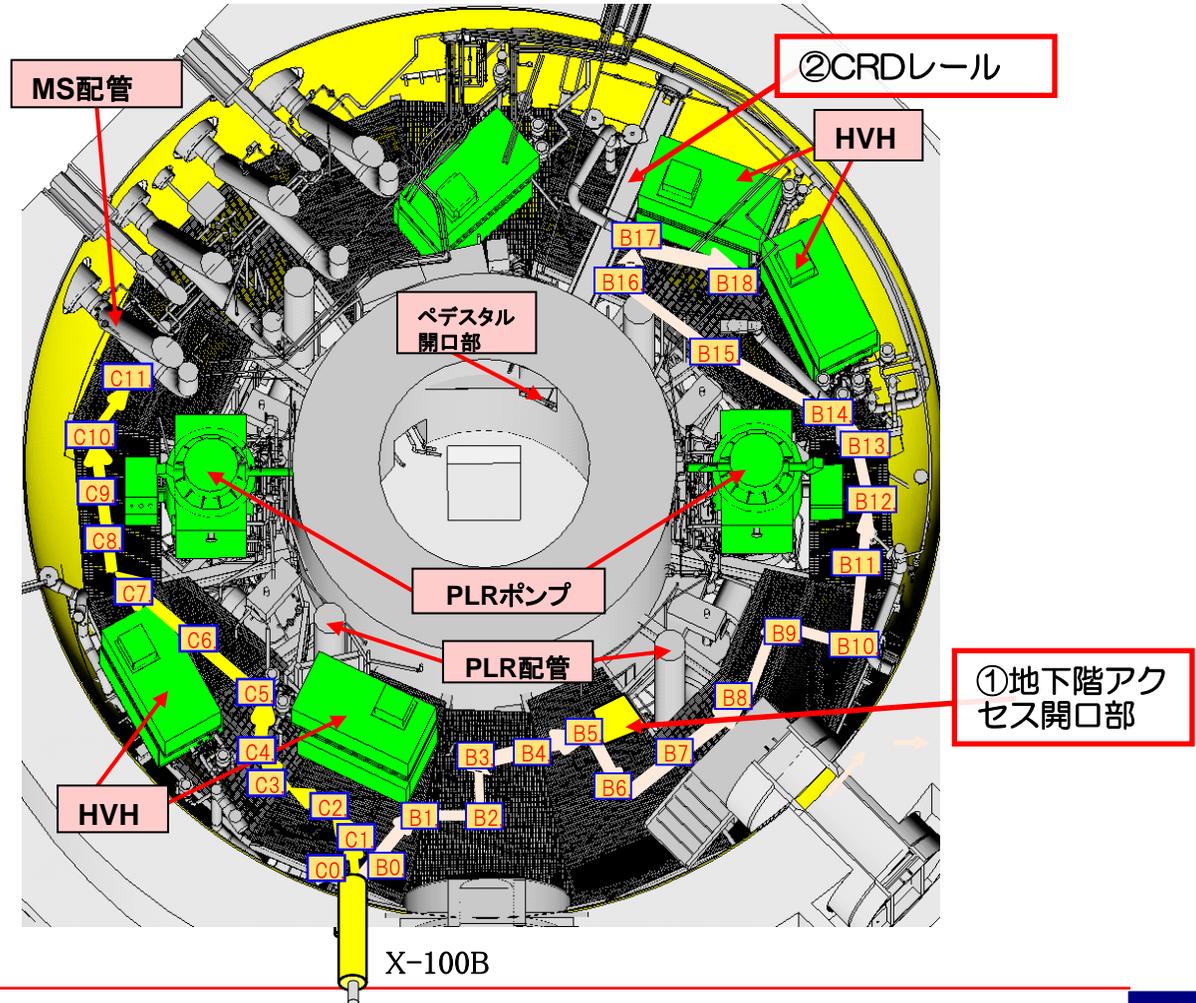
調査ポイントは調査時の現場環境状況によっては、変更の可能性あり

→ : アクセスルート（反時計回りルート）
→ : アクセスルート（時計回りルート）

【調査イメージ】



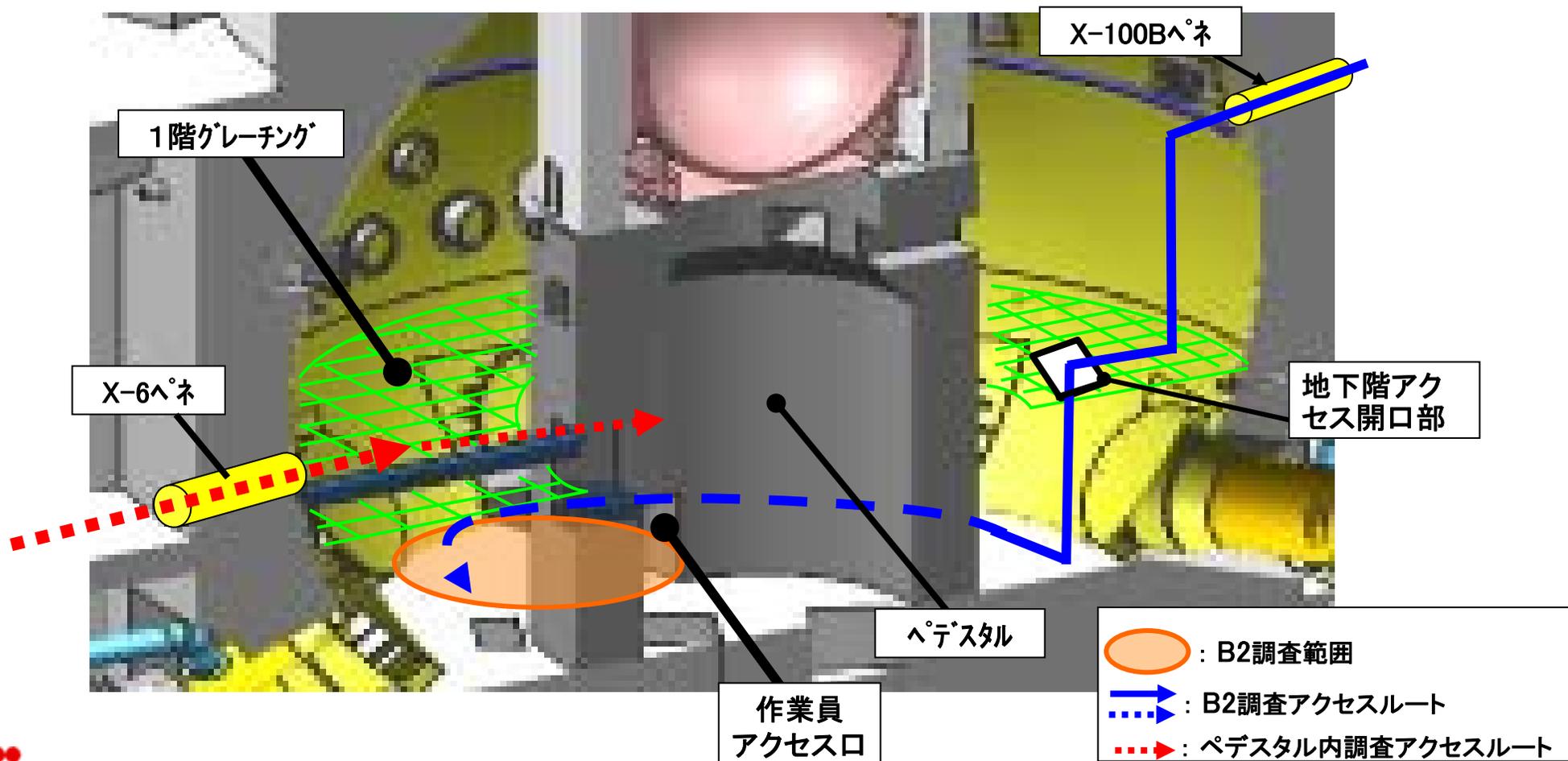
周囲を確認しながら、少しずつ走行し、調査対象位置では、カメラを上下、調査装置を左右に回転させて、各調査を行う。



4. B1調査の位置付け

- 1階グレーチング上の情報取得を目的としたB1調査を行う。
- 調査結果 ⇒ B2調査※の工法検討に反映する。

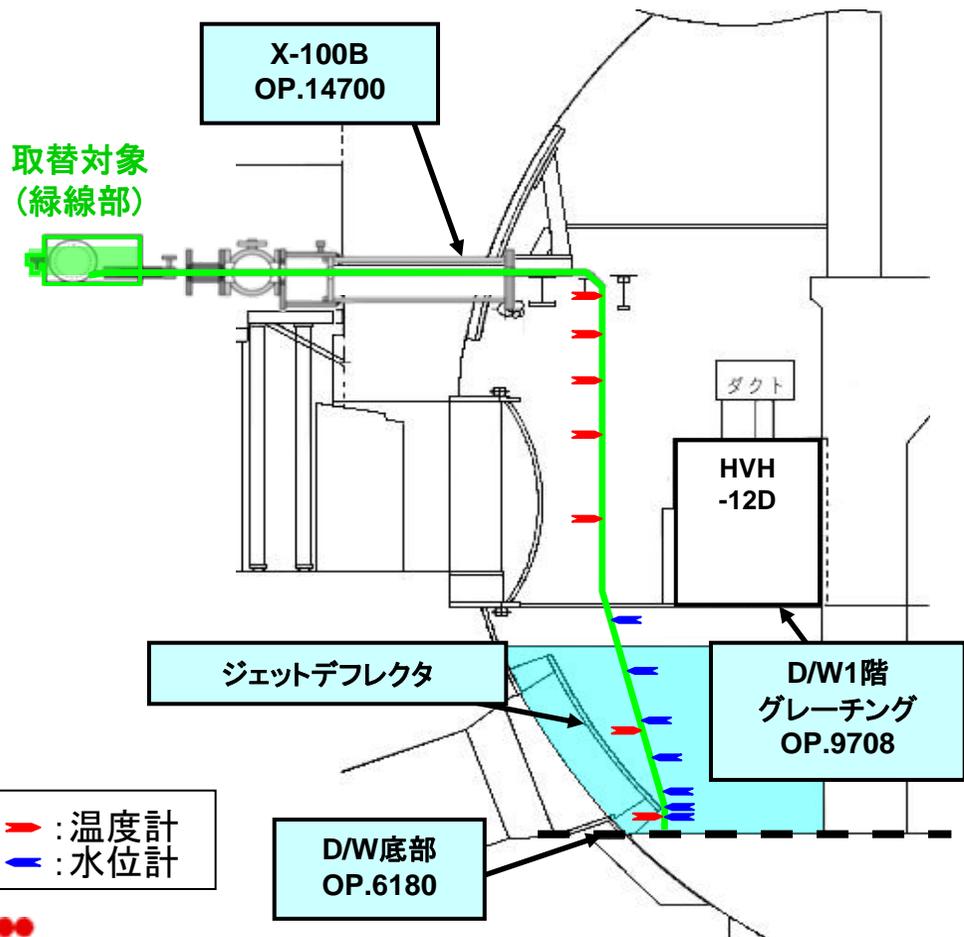
※B2調査⇒PCV地下階ペデスタル外側調査



5. その他【1号機PCV内常設監視計器取替】

■ 常設監視計器概要

1号機 B1調査実施のため、常設監視計器を取り外し、調査終了後、同等のものを同じ位置に設置する。



温度計: 熱電対

T7	OP.14500
T6*	OP.14000
T5	OP.13230
T4	OP.12500
T3*	OP.11200
T2	OP.7500
T1	OP.6330

水位計: 電極式

L7	OP.9380
L6	OP.8580
L5	OP.7780
L4	OP.7280
L3	OP.6780
L2	OP.6480
L1	OP.6330

※実施計画Ⅲ章18条の冷温停止状態監視温度計

実施計画における監視対象機器から除外した上で作業を行う。

6. 予定スケジュール

